

# 沖縄の米軍基地建設を止めるために 共に行動しましょう！

## 1. 座り込みへの参加は…

那覇バスターミナルから沖縄バス77番系統に乗車、  
「辺野古」まで約2時間半で到着します。

## 2. 座り込みを続けるみなさんへのカンパは…

郵便局 01710-8-53407「命を守る会」へ  
お願いします。

## 3. 大阪で一緒に行動してください。

●私たちは毎週土曜日の16時半～  
18時半まで、大阪駅周辺で街頭行  
動を行っています。

●大阪から基地建設反対  
の声をあげ、行動を起こそう  
という人々が集い、語らうミ  
ーティングを8月21日（土）  
の19時から予定しています。

場所:大阪駅前第2ビル5階「生涯学習センター」  
第5会議室

辺野古の基地建設と一緒に反対し行動し  
てくれる方、大歓迎です。

連絡先:osaka\_henoko@hotmail.com

現在、沖縄の名護市辺野古では、新たな米軍基地建設に反対して  
80代、90代のおばあ、おじを中心に座り込みの闘いが続けられ  
ています。その日数は、100日を超え、日本政府、防衛施  
設局がいつ強行に基地建設を始めるかも知れない  
緊張感と疲労感の中で、座り込み参加者の体  
力の消耗も激しく、大変厳しい状況が続いて  
います。しかし、その状況はここ大阪を始めと  
して、日本全国には全くといっていいほど伝  
わっていません。これは沖縄だけの問題な  
のでしょうか。

私たち、日本に住む多くの人々は、日  
米安保は必要だと言いながら、自分のま  
ちに米軍基地を受け入れることになれば  
猛反対するでしょう。では、そのしわ寄せは  
一体どこにいつているのでしょうか。

沖縄の面積は、日本の0.6%であるにも  
関わらず、米軍基地の75%が押し付けら  
れています。そして、米軍基地があるがゆえ  
の犯罪、騒音被害、環境破壊、経済問題な  
どに悩まされる生活を強いられているのです。

また、今一度戦争になれば、米軍基地のある沖  
縄は真っ先に攻撃の対象となるでしょう。その沖縄に、  
また新たな基地が作られようとしているのです。

このように、沖縄に対して差別的な状況を強いているのは、私た  
ち日本に住む人間です。その中で、また新たな基地が作られていくのを  
黙って見ていることなど許されるはずがありません。今こそ、辺野古の基地建  
設問題を私たちの問題として受け止め、一緒に反対しましょう。

そして、基地も戦争もない平和な世界を築くための第一歩を共に歩み出しましょう。